友愛

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10 電話大塚（941）2801
編集兼発行人　北川登
定価　1部10円

# 被爆者に友愛の手を!!

## 核兵器禁止　平和建設国民大会に参加

人類史上初の被爆国として放射能の洗礼を受けてから十六年を迎えた。本会は第一回全国大会で「原子力の国際管理」を訴えて以来カレルギー伯の「平和宣言」に呼応し、平和の日の制定運動を呼びかけてきた。また"千羽鶴運動"を通じて被爆者に心の灯を与えるよう全組織をあげて平和への関心を高める試みを行なってきた。

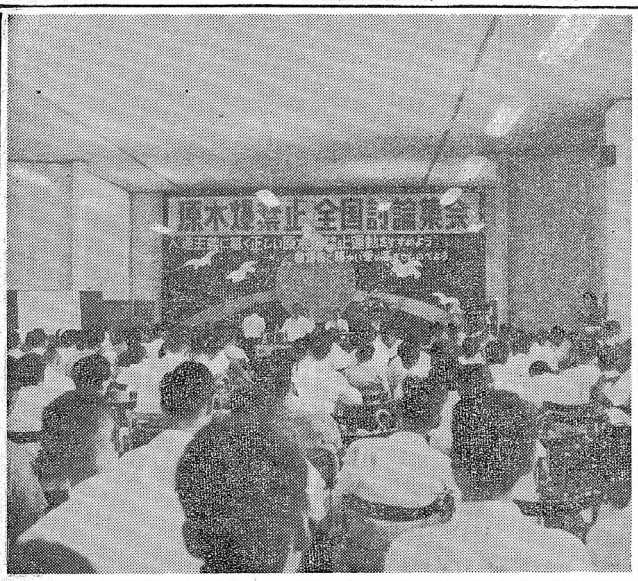
しかし現実は逆コースを辿り、日本原水協は共産主義勢力に牛耳られて反米組織化し、その政治的偏向は被爆者はもとより全国民に甚しい失望を与えるに至った。わが会はこの事態を憂慮し、友好諸団体と意見を交換すると共に、常任幹事会、政策委員会で慎重に検討した結果、「核兵器禁止・平和建設国民大会実行委員会」に参加を決定した。同実行委員会は、八月十五日東京都青年会館に青年、婦人、労働、宗教、農漁、学者、文化人、一般など各階層を網らして平和愛好の国民大会を開催するが、本会は同大会に積極的な役割をはたすと共にこの実行委を母体に新らしい平和のための国民運動を展開することとなった。写真は平和建設全国討論集会）

## 奥田幹事長　決意を披瀝

平和建設国民大会は「ヒューマニズムに立脚し、国際的連帯性を高めつつ、世界平和建設と人間の自由ならびに真の民主主義を確立するため国民的なものを尊重しながら、原水禁運動をはじめ幅広い平和建設の諸活動を行なう」ことを共調としている。このため、全体主義を排し、その目標として、一、核兵器の保有および保有しようとすることの禁止。二、原水協の敵をふむことなく、また第二原水協的な色彩を排除し人類愛と平和共存の精神を貫いた純真さと誠実さを持つこと。三、被爆者に友愛の手をさしのべ、心に希望の灯を与えることが確認されている。本会は、相互尊重、相互理解・相互扶助の友愛三原則に立脚し、全面的にこれに賛意を表して参加を決定したものであるが、同時に交渉をもって一、街頭署名運動の展開。二、被爆者救援カンパの実施三、各地行事への参加。四、実行委事務局への徴収を全国各支部に要請した。

この際、本会奥田幹事長は平和建設に邁進する本会の決意をあらためて披瀝し、全組織会員の団結と協力を希望している。

奥田幹事長談　現在の世界情勢はベルリン問題にみる如く、にわかに武装対立の緊張度を深めているそしてひとたび戦火が交えられれば核兵器は地球上のあらゆるものを滅亡に導くであろう。しかるに現在の原水禁運動は国民の期待を裏切って著しい思想傾向をきたし徒らに反米闘争へと暴走しているわれわれはここに決意を新たにし、新らしい国民運動を組織した暁に各階層を網らする諸団体や有識者の熱心な支持を得て発足することができた。




## 全国討論集会開く

### 広島商工会議所ホールで

八月十五日の国民大会に先立ち、平和建設広島実行委員会は七月三十日、原爆ドームに近い広島商工会議所ホールで「正しい原水爆禁止全国討論集会」を開催した。この討論集会には奥田幹事長が全国青年代表の資格で議師団の一員として参加したのを始め、全国都道府県から五〇〇名が出席、真剣な討議を行なって"人道主義に徹し、何ものにも拘束されない純粋な運動を展開、核兵器禁止、軍縮の実現と帝国主義の緩和、平和日本の建設と被爆者救援を積極的に推進する"との方針を決定した。

なお、会議の開幕にあたり本会広島支部の松井和磨君が「再開書を発表、開光を浴びた。

## 友愛歯科診療班

### 長野県下を無料巡回

### 団長に柳沢常任幹事長

柳沢常任幹事

"友愛歯科診療班"は、昭和三十一年八月、岩手県下の無料巡回以降ひさしくその活動を中止していたが、八月十六日より長野県東信地域に一週間にわたり、第三回診療巡回を実施することとなった。団長には本会常任幹事・東京都連委員長柳沢定勝君（歯学博士）が当り、組織要員の責任者としては協見和良常任幹事が随行する。

今回の「友愛歯科診療班」の無料巡回は昭和三十一年岩手県（四ヵ所）、昭和三十一年福島県（六ヵ町村）、について長期のものとし三、各地行事への参加。四、実行については第三回目になるが、今回は特に長野県医務課、長野県歯科医師会の後援を得て行なわれる。診療班のスタッフ、巡回日程は次のとおりである。

スタッフ（六名）
柳沢定勝　団長、常任幹事、日本大学大学院卒、歯学博士
渡辺誠司　南カルホルニヤ大学、日本歯科大学卒、歯科医師
佐々木恵美子　常任幹事、婦人対策部長、資生堂美容室歯科主任
布施厚子　日本歯科大学卒、歯科医師、自治開業
鈴木邦夫　日本大学歯学部在学中
関東学生部会員
協見和良　常任幹事・編集局長

日程および巡回地
八月十六日　中込町
十七日　北相木村、南相木村
十八日　北相木村、南相木村
十九日　小海町、南牧村
二十日　南牧村、望月町
二十一日　立科町
二十二日　立科町、和田村
二十三日　和田村、軽井沢泊り

本部では右の日程に従い、行事の周知徹底を東信地方各支部に要請すると共に、併せて友愛思想の普及と啓蒙のための懇談会などが設けられるよう連絡した。

## 本会、中青連に加盟

### WAY（世界青年会議）につながる

本会は創立以来、友愛による国際親善交流に努力し、昭和三十四年五団体と共同で創設、毎年多数の会員を海外に派遣してきたが、八月一日「中央青少年団体連絡協議会（十団体が加盟、略称中青連）」に加盟が承認された。

中青連はYMCA、YWCA、ボイスカウトなど三団記載の一〇団体で構成されWAY（ワールド・アセンブリー・オブ・ユース＝世界青年会議）が一国に一委員会に限り加入を認めているいわばその対外的窓口として組織されているものである。従って本会は、中青連に加盟することによって直ちにWAYに加入することになったわけで、一段と国際交流の舞台が広くなったといえる。中青連は創設以来十団体のままであったが今回の規約改正で新親加盟を認めることとなり、本会と同時に国際青会（会長宋次一郎氏）が加盟したので構成は十二団体となった。

中青連への加盟に伴ない常任幹事会は委員として奥田吉郎幹事長、北川登事務局長の二名を選任した。委員会は八月十八日開かれる。

なお、本会は八月十九日より北川登事務局長の二名を選任し、WAYの拡大強行委員会が日本で開かれるので、本会は加盟そうそうWAYでの活躍を始めることになる。（関係記事三面）

## 全日本ユース・ラリー実施

### Y・H創立十周年記念に

日本ユース・ホステル協会（会長南条徳男氏）では、創立十周年を記念して、七月二十二日、二十二日の両日東京日本青年館で盛大な「全日本ユース・ラリー」を開催した。

このラリーには、全日本各地からホステラーが参加し、二十一日の前夜祭に芸能の夜を楽しんだあと、二十二日は映画会（各国のユース・ホステル）、座談会、記念式典、記念講演会、民謡と踊りのタノを盛り沢山なプログラムに等を盛れるひと時を送り、夜はニュースに分かれて「提灯行列」を行なった。

二十三日からは、東京、千葉、神奈川、埼玉、群馬、栃木、茨城、静岡、山梨の九都県Y・H協会が担当した十六コースに分れて、総勢六二〇名参加の大ホステリングを実施した。

## 各地で交換会

### 日独交換青年代表

独青少年交換計画によるドイツ・ゼルター博士）一行十八名は去る八月五日午後二時羽田空港着で来日した。今回の交換は第一回目で昭和二十九年以降毎年実施されてきたが、ドイツ代表の訪日は今回が三回目である。この中、第五回（昭和三十三年）には本会から浅井敬士君（上野）が、第七回（昭和三十五年）には奥田幹事長伊藤昌弘君（東京）左橋圭三君（三重）の三名が日本代表として訪独している。

来日した代表団は、政府代表二名、指導者八名、青少年九名で五名の女もも交り、モニカ・シュワルツイイカー嬢は十八才の女子学生である。一行は、八日、九日の二日独青少年交換中央大会をはじめ、二十六日迄滞日し、三重、奈良、兵庫、京都大分、熊本、愛知、神奈川の各県を訪問する。

八日の中央大会は尾崎記念会館で催され、川崎秀二交換実行委員長の挨拶と開会、国歌の紹介があって、メナントを交換、清瀬衆議院議長、荒木文部大臣、全国市長会代表・井金沢市長、ドイツ大使代理の祝辞、ゼルター団長の挨拶などの後、多彩な交換会が催された九日はスポーツマンホテル、総理官邸に分れて会合が持たれ、本会から奥田幹事長、鶴巻国際部長、横尾国際部次長、八木学対部長が出席した。

また、歴訪諸都市でも各所で本会各支部との交換懇談会が予定されており、全国的な親善友好の集いがくりひろげられる。

なお、七日にはNHKにテレビの「私の秘密」に出演、本会から奥田幹事長もプレザー・コートを着て出演した。

## "友愛"一〇〇号記念

### 機関紙合本を作成

### 限定三〇部を頒布

機関紙"友愛"の一〇〇号を記念して、本部では一〇〇号をとりまとめた合本を三〇部製本することに決定した。これは、創刊号以来毎号五〇部づつ保存しつづけてきた貴重なものの中から、特に三〇部だけを製本しようとするもので、今秋、相ついで出版されるカレルギーの著書と併せて、会活動の貴重な資料となるであろう。

本部では数量限定があるので、左記のように希望者に実費で頒布することになった。

頒布要項
合本体裁　総クロース製
金茶カガリ綴
表題・背文字および表紙金文字
希望者にはネームを金文字で入れる。
頒布価格　昭和三十六年九月二十日定数になり次第〆切る。
申込〆切　二、六〇〇円（会費料）
申込手続　希望者は料金をそえて本部事務局まで申込む。
（註記）　特に名前を入れることを希望する方は、その名称（個人、支部、県部の別を明記）を記入して下さい。製本発送は十月中に行なわれる。

## 言直

▼友愛国際促進団の派遣発表は、本会の全国組織の会員はかりではなく、各方面に非常に大きな反響をまき起している。直接担当の国際部はもちろん、各方面からの到到する問い合せに事務局も目を白黒。これも友愛発展の証左として同慶にたえない次第。友好団体の会合の席でも、もっぱらこの話題が出ることか。

▼ヒットといえば、柳沢常幹事局から団長として行なわれる"歯科診療班"はホームラン性のヒットと賞賛できよう。ピタ一文でない夏枯れの本部会計に、歯科治療材料の寄贈果めや、労力奉仕の人集め、後援依頼、現地との交渉など不快指数以上の苦労があったことだろう。献身的なこの奉仕と努力には心からな拍手をおくりたい。

▼苦労といえば、中央も地方も同じこと、昨今の御疲気は皆戸以来とりわけ青年運動にはまだ世間の関心は薄くはない。青年運動の限界がトカク話題となるのは、それだけまだ後進性が残っているということか。暑い災下、今日も全国各地で、会員の労苦多い活動がつづけられている。日独交歓会、北海道の移動映画……。友愛の灯も除々にひろがり巨火となってゆく。

▼今月は二つの画期的なことがあった。平和建設国民会議への参加と、世界青年会議への加盟決定である。友愛は国内外の二つの大きな組織加入へと一歩を大きく踏み出した。世の荒波と試練を受けるのは、ふくさない組織の団結と、権力や利欲に惑れない確固たる勇気をもって、不屈の前進を続けよう。

夏雲の
乱れるかなた　光ある
北人

# カレルギーを語る（中）

## カレルギーの著書出版

### 鹿島・深津両先生の手で

（司会）本部事務局長　北川　登

日本大学講師　深津栄一先生

鹿島建設会長　鹿島守之助先生

慶応義塾高校　柳沢　紘君

**深津**　そのオーストリーの湖以来、お会いになっていらっしゃらないのですが。

**鹿島**　ええ、それ以来会いません。しかし、私はクーデンホーフのパン・ヨーロッパの思想はどういうものであるか、その後クーデンホーフが「パン・ヨーロッパ」誌をずっと出していること、またヨーロッパの名士、たとえばチェコのベネシュだとか、フランスのブリアンだとか、ドイツのアデナウアーとかと共に、パン・ヨーロッパをどうすればいいか、こういうようなことについて活躍している記事が雑誌に出ておりましたから、私はそういうものは丹念に読んでいたわけです。ですから、私が『国際知識』そういう雑誌にかなり私のパン・ヨーロッパに関する寄稿したとか、それからヒントを得ましたパン・アジア運動、そういう論文を載せておりました。

それから、この夏ぐらいに、クーデンホーフの翻訳を、私が二つ出します。一つは『ヨーロッパ国民』という本と、もう一つは一九二三年に出版した本で、これはパン・ヨーロッパ運動のバイブルだといわれているわけですけれども『パン・ヨーロッパ』を再版したいと思っております。それは実は鳩山先生が読ませたいとおっしゃったんです。けれども「絶版ですから……」ということで、実は鳩山先生の存命中に出したかったんですけれども、出せなかったんです。

**北川**　それはどこから出られるおつもりですか。

**鹿島**　これは今、大日本印刷に回しておりますよ。『ヨーロッパ国民』と、深津先生の『ブロム・ワー・ツー・ビース』を出すと、クーデンホーフというんはどういう人であるか、どういう思想で、どう行動したか、解説が必要ですから、それで古いものですけれども、略歴し、又木村先生もかなりいろいろなことを言いておられますから、それを載せるかして、紹介したい、そういうふうに現在考えているのです。

**北川**　会員の中でも一九二三年の『パン・ヨーロッパ』を読みたいというのが沢山にございまして、とんと再版されるというのは、大へん喜ぶのじゃないかと思います。

## 欧州統合への功績

### シャールマン賞を受ける

**深津**　先生のパン・アジヤというお考えはだいたいどういう考えですか。いろいろ論文を書かれた中の……。

**鹿島**　それはクーデンホーフ・カレルギーと同じように、国際連盟――今の国際連合――のドでその中間組織として、パン・ヨーロッパだとか、パン・アメリカだとかソビエト・ユニオン、コモン・ウエルスという構成部分の一つとして、極東の平和を維持するためには、日本から直接国際連盟へということでなしに、中間にまずアジア諸国を組織化せなければならぬという考えです。

で、現在でも私はその考えは、変わらないわけです。というのは日本では、日本の外交というとすぐ国際連合ということでしょう。けれども安保条約のような、そういう日米の地域組織といいますか、そういうものは非常に重要だ。ですからアメリカ、それから太平洋の自由主義諸国、カナダ、オーストラリヤ、それから南鮮、中国は今将来の問題に残しておくとして、東南アジヤ諸国、それからインドネシヤ、それからインドはもう独立しましたから、現在は南朝鮮からインドに至る地域それから太平洋沿岸の自由主義諸国、そういうような地域に、なんらかの組織が必要だ。ことにクーデンホーフ・カルレギーがいったパン・ヨーロッパというものは、ヨーロッパのコモン・マーケット――欧州共同体という形で長足の進歩をしてきたと思います。シューマンプランの鉄・石炭共同体、ユートラム即ち原子力の組織もできたんです。十年もたては関税が撤廃されるのです。ですから、実際問題としては、非常な長足の進歩をしたんですよ。

私は、七年ほど前になりますがウイーンで開催された列国議会同盟会議に出席しましたが、これは国会議員が集まりまして、それは国会議員の代表としてじゃなしに、世界の国会議員が自由な立場で話し合えるのです。そのときの議題として鉄・石炭共同体・ヨーロッパ・コモン・マーケットの問題も、フリー・トキングをやっておりました。そのとき西ドイツの国会議長がクーデンホーフに言及してこういうふうに鉄・石炭の共同体ができるということは、政治的にクーデンホーフ・カルレギー伯爵のたびみない不撓不屈のパン・ヨーロッパ運動のたまものであるということを強調しておりましたからヨーロッパの組織化、共同体化へのクーデンホーフ・カレルギーの功績というものは、はかり知るべからざるものがありますね。

**深津**　歴史的な人物ということでもいいといっているのですけれども。

**鹿島**　どちらでもよろしゅうございますからとにかくよりよくらい部数がいるか、いっていただければけっこうです。

**鹿島**　ああ、そうですか。じゃ何部ぐらい必要であるかいっておいて下さい。私の方でそれだけの部数、寄贈いたしましょう。

**深津**　いや、買っていただいた評価は、どうでしょうか、カレルギー伯自身の。

**鹿島**　第一回のシャールマン賞をもらっているわけですね。第二回はチャーチルがもらった。つまり欧州の統合に尽力してもらったわけです。日本じゃノーベル賞の値打ちを認めるけれども、シャールマン賞の値打ちはあまり認めないですがね。ノーベル賞は、クーデンホーフ、ちょっと むずかしいじゃないかと思う。

**深津**　候補者にはしばしばなったそうでございますね。

**鹿島**　ええ、それはカルレギーのパシフィズム――平和主義という論文があります。『平和の障害への敵は平和主義者である。（笑）こう書いてある。（笑）それで平和という ものは、宗教的平和と政治的平和とに二種類に分けて、ただなんでもかんでも平和でなければならぬという宗教的平和、ある見ちからによれば敗北主義者みたいな、そういう平和主義というものがかえって戦争をいざなう結果になる。つまり防備なんか撤廃してしまう。日本の平和主義者もそうだ。日本は徴兵ないでしまおう、そうなるとかえって隣の共産圏あたりが侵略がやすくなる、かえって平和になるまい。つまり戸締まりもせずにおいておくということは、泥棒を誘致するようなんだ。一定の戸締まりということは必要だ。平和のためにはそうならなければならぬ。

この思想が、ノーベル賞の候補者をきめるときに、私は、じゃまになると思う。しかし私はこの考え方、すなわち平和問題を宗教的の見方と政治的の見方と二つ区別するという考え方は、今のケネディであろうが、ヨーロッパのド・ゴールであろうが、アデナウアーであろうが、西ヨーロッパの諸国は、みなそういう考えだと思う。われわれもだいたいそういう考えだ。ところが社会党や共産主義者となると、平和というものには、日本じゃ防備はいらないのじゃないかという。それがノーベル賞のじゃまになるでしょう、多分。

**北川**　シャールマン賞はどういうのでしょか。シャールマン大帝の……。

**鹿島**　欧州統合に功績のあった人に与えられるもので、第一回はイギリスのチャーチルがもらった。

写真はニースで開かれた「欧州諸国民自決会議」

## 友愛アジア同盟が必要

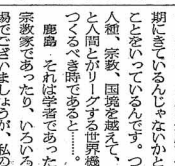
### 現実的なカレルギーの思想

**北川**　来月ウイーンでは世界連邦会議が開かれるので、日本からも青年が三名、うちの会で二人出ることになって、来月の八日に出発するのですが、現在の世界連邦の構想には、共通な法機関、共通な予算を持った世界議会というものをつくるマキシマリズムに基いた連邦運動と、フェデラル・ユニオンといった中間的な考え方と、もう一つ、国連を改造していってコモン・マーケットとか、軍事面だけ統合するとかというような三つの考え方が、現在の世界連邦の運動の中にはあるようですけれども、クーデンホーフの国家統合の考え方というのは、そういった国際連合を頂点とするところの中間組織といったような考え方でございましょうか。

**鹿島**　ええ、私もそういう考えだし、クーデンホーフもそういう考えじゃないですか。なかなか一べんにはいかない。

**深津**　いかないですね。

**鹿島**　それで、パン・アジヤという思想が少くともアジヤ・コモン・マーケット、あるいは太平洋コモン・マーケットという構想を安保条約の審議の際に、私は参議院で岸総理、今、総理大臣になられた池田通産大臣、藤山外務大臣に聞いてみたんですよ。だれも賛成しないですね。ヨーロッパというものはドイツもフランスもイタリーもあまり差がない。だから一緒になれる。ところが日本は二葉国であって、隣の国があまりに富の程度も低い農業国だから一緒になるということは非常に困難だ。もちろん困難ではあるけれども、やはりそういうふうなものに経済援助を与えたり、技術援助を与える、そうしてそれを高めていくべきだと考えます。ちょっと私が対外経済協力の問題をやっているんですが、やはり韓国や東南アジヤの国々と折々会議を開いて意見を交換し、共通の問題は共同で推進すべきであります。あなたたちも友愛青年同志会が世界的な会合へいかれるのも必要でしょうが、地域的なアジヤ青年の友愛同盟ですか、そういうものも非常に必要ですね。昨年の秋、東京で列国議会同盟の会議があった時、アジヤの八ヵ国が一緒にそういう世界の議員同盟の範囲内において、アジヤだけ八ヵ国の会議を開こうじゃないかということを決議したんですがね。



**北川**　今おっしゃったような観点から、たとえばH・G・ウエルズとか、シカゴ大学総長のハンチンズとかが、今や世界の求めているものは強なるリーグ・オブ・ピープルスやリーグ・オブ・ネーションズではなく、リーグ・オブ・マンである。それを達成すべき時期きているんじゃないかということをいっているんです。つまり人種、宗教、国境を越えて、人間と人間とがリーグする世界機構をつくるべき時である……。

**鹿島**　それは学者であったり、宗教家であったり、いろいろな立場でございましょうが、私のような政治ポリティシアンの立場からいうと、もう少しクーデンホーフみたいに現実的に考える方がいいのではないかと思う。

**深津**　非常に現実的ですね。ヤ、イデアリストだと思っていたんですけれども、ほんとうにリアリストですね、カレルギー伯は。

**鹿島**　ええ、そうですよ。私、クーデンホーフの著書パン・ヨーロッパで感銘したのは、ソビエト・ロシアとヨーロッパの関係というものが、昔のインドとギリシヤの都市国家との関係と同じような関係にあるということを指摘しているところ、小さいアテネだとかスパルタだとかテーベとかの都市国家が争っていたわけだ。ただ、オリンピックの神話と縁技で民族的に同種の民族だとの意識はある。ふだんはけんかばかりしておる。そうしておるうちに、北方にマセドニアという国ができた。それでフィリップ王がギリシヤへ侵略しようということを企てた。それを見抜いたのがデモステネスだ。それでギリシヤ各地を遊説して、野蛮国マセドニアの侵略が目の前に迫っているということを説いて回ったけれども、ギリシヤ人は、そんなばかなことはないと、だれ一人信じない。いよいよ侵略の始まる寸前に気がついた。気がついたときは、ギリシヤ連合軍は、マセドニアのフィリップの軍隊にガイロニアというところで負けちゃった。ギリシヤの都市国家というものは、みな壊されちゃった。

その当時、フォキオンという賢者がいた。だから神罰――マセドニアの侵攻――を受けたら神罰に健全になって、立ち直るだろうということを言ったけれども、実際はマセドニアの侵略を受けたギリシヤは水びたしになっちゃった。それでマセドニアが結局今のロシアだ。私（カレルギー）は現代のデモステネスだと……。

（つづく）

**深津**　ユニオンシャールマニオというのがあったのですね。

**鹿島**　ええ、シャールマン大帝統治のときに、フランスもドイツも一緒だった。それで欧州統合の象徴としてシャールマン賞をこしらえた。

**深津**　最近、私どもが翻訳しております本の考え方も、今、先生のおっしゃったのと同じですね。一貫して、おそろと全然変っておりませんね。

### 鹿島守之助　先生略歴

法学博士、参議院議員（自民党・全国区・当2回）鹿島建設株式会社長、拓殖大学教授、日本国際政治学会顧問、経済団体連合会財務理事、東京「日本外交政策の史的考察」および「日英外交史」の二著書に対し『学士院賞』を受賞された。著書はこの他に「世界大戦原因の研究」「日米外交」「ビスマルクの外交政策」などがあり、学界における重鎮でもある。現に（財）日本国際問題研究所副会長を兼任。本会顧問、六五歳。女婿瀧美健夫氏（鹿島建設副社長）は（財）日本友愛青年協会の評議員。

昭和二十八年参議院議員に当選、昭和三十二年四月岸内閣の国務大臣、北海道開発庁長官に就任、同三十四年再び参議院議員に当選された。政、財界に貢献するかたわら、専門の国際政治の研究にはげみ、昭和三十四年一月「日米外交政策の史的考察」および「日英外交史」の二著書に対し『学士院賞』を受賞された。著書はこの他に「世界大戦原因の研究」「日米外交」「ビスマルクの外交政策」などがあり、学界における重鎮でもある。現に（財）日本国際問題研究所副会長を兼任。本会顧問、六五歳。女婿瀧美健夫氏（鹿島建設副社長）は（財）日本友愛青年協会の評議員。

# 働らく青少年の集い

## 軽井沢友愛山荘で

## 余興に楽しい一夜

### 有意義だったヤブ入り

〝藪入り〟の七月十五・十六日にかけて、本会主催で勤労青少年を招き「働らく青少年の野外の集い」を行なった。これは中小企業に働らく集団就職した人達を対象とし、休みの一日を軽井沢に招待して有意義な野外活動を楽しんでもらおうというもので、第一回目として東京横編メリヤス工業組合に所属する勤労青少年男女五〇名を招待した。初の試みではあったが、一行は快晴に恵まれて藪入りの休みを楽しみ有意義に終った。

**雲** ひとつない晴天に恵まれた七月十五日、東京・両国に集合した一行五〇名（引率責任者髙橋書記長）は、友愛青年同志会貸切りの西部観光バスに便乗午前八時エンジンの音も軽やかに一路軽井沢友愛山荘に向けて出発した。

バスの中で東京横編メリヤス工業組合田中理事長の挨拶、幹事役の髙橋書記長、スス真矢小(株)の進行技の挨拶、日程説明などに耳を傾けながらやがて国道十七号線に出る。快適な舗装道路を群馬・埼玉と進む途中、ガイド嬢は風物文化、歴史など多彩な話をきかせてくれて思わぬ社会勉強。熊谷で小憩の後、再びガイド嬢の巧みなリードで〝自己紹介〟に〝他己紹介〟元気な歌も出ていつしか碓氷峠にかかる。

碓氷湖畔でまた小憩「もう空気が冷たいや」「おいしいじゃない、この空気」と、ひとはしゃぎして再び出発。一気に帳を登り、十二時四十分無事〝こんやのお宿〟軽井沢友愛山荘に到着した。早速、早川営繕主事から諸注意を受け、セルフ・サービスにとまどいながらも賑やかな昼食をすませた。午後二時、碓氷峠見晴台までバスで登り、遥かに雄大な妙義、八ッ岳の連山、噴煙をひく浅間山を眺めて、帰路は白樺林、セセラギのハイキングコースを辿り午後四時山荘に帰った。

**夕** 食は山荘での二度目の食事なので皆、手なれた賑やかさも二段とましたもの。夜空に星のきらめく頃、野外でファイヤーストームの巨火を囲み、歌に踊りに元気百倍、それぞれのアイデアをこらした楽しいひと時をすごして十時就寝した。

翌朝は午前六時起床、モーニングミュージックの中で清掃、体操。朝食後は緑の軽井沢を散歩するもの、裏庭でゴルフ競技にはしゃぐもの、弁当のおにぎりを手伝うもの、さまざまに自由時間を楽しんだ。午前十時、山荘にお別れの挨拶をして〝奇観〟鬼押出しに出発。昨日につづき天気に恵まれた一行は、目前に迫りあるいは広がる上信越国立公園浅間高原を車窓に映しながら、鬼押出しで記念撮影、続いて北軽の照月湖を尋ねて昼食をとった。

**ボ** ートなど湖畔のわずかな時間を楽しんで、午後二時照月湖を出発真夏の太陽を受けながらも、快よい高原の冷風をいっぱいに受けて〝赤トンボ〟〝カラスの赤ちゃん〟

＝写真はファイヤー・ストーム（下は鬼押出しの奇景の前で）＝

元気な合唱の声を感外に流しながら、一路東京に向け帰路についた午後七時ようやくネオンに灯りのついた東京・両国に到着、想い出のアルバムを胸に解散した。

（随行者宮田・高野両常任幹事）

# WAYと中青連

## その目的、構成、事業、性格、歴史

### 解説

八月一日、本会は正式に「中央青少年団体連絡協議会」に加盟が決定した。ところで中青連とはどのような団体なのか、その目的、事業、構成、WAYとの関係をふり返ってみよう。

略称「中青連」は英文名称をJapanese National youth-Agencies Coardinating committee という。（規約第一条）その目的は、❶構成団体の連絡、調整をはかり、協力の増進を期すること。❷WAY（World Assembly of youth）その他の海外の国際的諸団体との連絡ならびに、協力をはかること。とし、この二目的を達成するに要する〝連絡並びに調査〟等の〝事務以外の事業〟を行なわないと規定している。つまり加盟団体間の連絡調査の事務、WAYなど海外団体との連絡、協力の事務がその主要目的なわけである。以上の目的をもって中青連は一九五一年（昭和二十一年）五月一六日に誕生した。

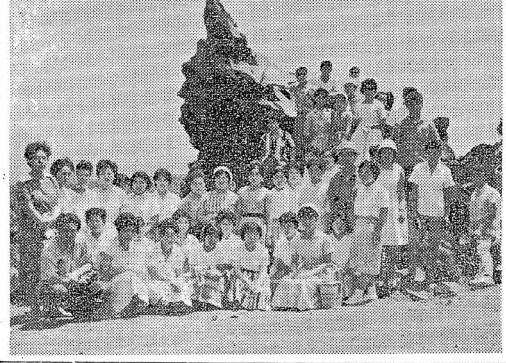
その組織は「東京に央事務所を有する全国的青少年団体の代表委員各二名をもって組織する」（第三条）とされ、その構成団体は、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟、日本キリスト教女子青年会、日本基督教青年会同盟、日本青年団協議会、日本青少年赤十字、日本ユースホステル協会、日本ユネスコ学生連盟、日本郵便友の会協会、全国農協青年組織協議会の一〇団体であった。中青連の役員は、委員長、副委員長、会計委員、記録委員各一名で事務局には総主事以下若干の職員がいる。役員は委員の互選で任期は一年となっているが重任してもよい。

加入の条件は、（1）全国的に広く教育的な青少年事業を行なっており、その中央事務所を持つ団体であること（2）その団体の会員は自団体であること（3）その団体は会員によって運営される完全な自治組織を持ち会員が指導権をもっていること（4）会員の大部分が三〇才以下であることが必要で、この条件はWAYの基本方針に合致している。

WAY（世界青年会議）は、世界の青少年団体をもって組織され、一九四九年八月、ブラッセルで創立された。本部は：66Rue St. Benard, Bruxelles 6, Belgique」におかれ、五七ヵ国が加盟している世界最大の青年組織である。

その活動は、（1）世界の青少年層に国際理解を徹底させ、人種の偏見と闘争を尊敬と協力にかえてゆく（2）国際的親睦で青少年問題の解決をはかる（3）青少年団体の育成、青少年指導者の養成のためあらゆる機会を用意することを基調としている。WAYの加盟は原則として一国一組織しか認めない。広く諸国に門戸を解放しているが、自由意志の尊重、人権の尊重を基本としているため共産圏青年団体の加盟は現実にはない。中青連は一九五四年八月、正式にWAYに加盟したが、一九五一年米国で開かれたWAY第一回大会に六名のオブザーバーが出席、第二回大会（一九五四年シンガポール）には十二名の代表を、第三回大会（一九五八年ニューデリー）には五名の代表を参加させた。以来、WAYの主催する農村研究会議（レバノン）勤労青年研究会議（ベルギー）、カウンシル、アロカ青少年指導者センターなどに数多くの参加者を送り出している。一昨年十一月にはWAY主催で「原子力時代における青少年セミナール」が日本で開かれ、本年八月三十日からはWAYの拡大執行委員会が日本で行なわれる。

（北川）



## 堀田君（桑名）が決定

### ユネスコ国際会議日本代表

堀田英之助君

ユネスコ・デンマーク国内委員会主催の〝教員と青年指導者の会議〟は八月二十五日から四日間、コペンハーゲンで開かれるが、同会議の日本青年代表として本会から堀田英之助君（桑名支部幹事長）が参加することに決定した。

同会議は、昨年八月コペンハーゲンで開かれた世界友愛青年大会＝日本代表・本会学生部柳沢紘君＝の成果を基として討議を加えようというもので、日本からは二名の代表が参加する。

なお、もう一人の代表桜井敬三君（都市青協文化部長＝東京在住）とともに八月二十二日羽田空港から出発する。

なお〝働らく青少年の集い〟は今年度中に六回の計画しており、趣向と内容を変えながら、軽井沢で行なわれる予定である。

（随行者宮田・高野両常任幹事）

## 国際W・A・Y拡大執行委員会の日程

WAYの拡大執行委員会が日本で八月二十九日から開かれ、各国代表が参加する。

同委員会は二十九日午後三時より、東京文化会館で開会式を挙行、午後五時半文部大臣の招宴があり、午後六時半より舞台を御殿場「国立中央青年の家」に移し、九月五日迄執行委員会に移し、九月一日からは東京に戻り、青少年対策説明会、報道懇話会、総理大臣招宴につづいて午後六時半から、椿山荘で盛大な「世界青年の夕」が催される。七日からは京都、奈良、大阪で研修会、交歓会が行われる。

小委員会が開かれる。この間、六日には東京に戻り、青少年対策者との懇談会がもたれる。

## 団だより

◇友愛山荘建設費
助者（七月分）
報国水産株式会社殿
株式会社貴生堂殿
東洋バルブ株式会社殿
東京瓦斯株式会社殿
日本トレーディング株式会社殿
冨士写真フィルム株式会社殿
東京信保証協会殿
株式会社北海道漁業公社東京支社殿
函館公海漁業株式会社殿
信越化学工業株式会社殿
株式会社三越殿
株式会社横河橋梁製作所殿
東部織維株式会社殿
大成建設株式会社殿
株式会社高島屋東京支店殿
株式会社日立製作所殿
全国共済農業協同組合連合会殿
関東ターボ製品株式会社殿
清水建設株式会社殿
ミヤコ化学株式会社殿
株式会社交化放送殿
日本航空株式会社殿
日本舗道株式会社殿
◇鉄梯友愛山荘の建設準備は着々と進められているが、設計は栄建築研究所山崎所長、佐藤、関沢三建築士の手元で第一次試案が完成一階鉄筋コンクリート、二・三階木造の三層建で総建坪は一七四坪ベット六〇、和室十一畳一畳で定員は八〇名となっている。
◇札幌友愛山荘建設委員会の事務所が当分の間左記に変更になった
旧札幌市北二十一条百十四丁
北海道光委員会内
新札幌市琴似町新川 青川気付
◇軽井沢友愛山荘は夏期はいつも定員過剰ぎみであったが、本年も九月十二日迄予約員の盛況で嬉しい悲鳴をあげているが、早川主事は、断わる方に誠に申し訳ない心苦しいと述べている。
◇青振友愛山荘もシーズンに入って非常に活気づき、県の研修会、青年、婦人団体の会合利用などで真武主事は当客化をきわめて、福岡県連結成大会に出席するのもやっとのことだと嬉しい悲鳴。

## 栄養教室 ④

### ビタミンについて

今月はビタミンについて簡単に説明いたします。

ビタミンは生活機能を円滑にする為に必要な栄養素で、調節素とも云われます。例えば機械にさす潤滑油のような働きをするのです。このビタミンを大別すると次のようになります。水溶性のビタミン（ビタミンB、C）、脂溶性のビタミン（ビタミンA、D）になります。脂溶性のビタミンは体内のものは余分に摂取しても、余分のものは排泄されてしまいますので、常に補給しなければなりません。

ビタミンの必要量は極微量ですが、不足したら欠乏すると、私達の体は、いろんな障害を起し、病気になったり、発育が止まり、生命に危険を来す事にもなります。

（担当 油野、川久保）

ビタミンAは肝油、ビタミンDは魚類に多く、B1、B2は肉に流れますから洗いすぎない事、Cは熱に弱いので、加熱の調理方法をさげるようにちょっと注意すれば、特に神経をとらせて注意しなくとも、必要量をとる事が出来ます。ビタミンだけでなく、私達は常にバランスのとれた食事をするように心掛けたいものです。

毎年行われている国民栄養調査では、食糧が豊富になった現在でも栄養不足による病気が多く、国民の二〇%を越しています。その内ビタミンB1、B2、Aの不足が目立ってというのですから、毎日の食事に不足にならないように注意しなければなりません。

ビタミンは調理方法によってはこわれてしまう事があります。Aは油と一緒に利用しますと効めが多く、B1、B


賛助醤梯友愛山荘建設

会津銘酒

会津のよさは酒のよさ

花 春

花春酒造株式会社

会津若松市 TEL 160, 240, 1887

毎日の御愛用感謝致します

登録商標

ヤマカ醤油

ヤマカ味噌

醸造元 合名会社 山家屋吟醸

会津若松市 TEL 501

# 地方だより

## 福岡県連結成さる

### 九支部・地区を統合して

福岡県支部連合会の結成大会は、一七月三十日（日）午前十一時より福岡市議院町の税理士会館三階ホールで県下各支部地区の代表約五十名が出席して開催され、本部から尾形地方対策部長、山口支部より佐藤正治支部長、別府地区から丸山遠組織常任委員らが参列した。大会は遠賀地区の柳井会員の司会で君代斉唱、来賓の祝辞、祝電の披露のち、議長の選出となり、つづいて昭和三十六年度事業計画の審議に入り（一）友愛思想講座の開催（二）映画会の巡回上映（三）県下市町村支部結成の推進（四）レクリエーションの定期開催（五）学生部組織の推進（六）友好団体との交流（七）在福留学生との懇談会の開催、以上七つの事業を決定した。あわせて昭和三十六年度予算の検討をおこない、これを原案通り可決決定して、別項のように役員を選出、大会宣言を発表して、午後一時閉会した。

#### 大会宣言

我等同志は友愛青年同志会の目的綱領の実現を期しここに福岡県下の同志相集い、友愛青年同志会福岡県支部連合会を結成した。この上は強固なる団結と若人の情熱によって友愛社会の完成に努力せんことを誓う。

昭和三十六年七月三十日

友愛青年同志会
福岡県支部連合会結成大会

×　×　×

昭和三十六年度
福岡県支部連合会役員

相談役　真武　信幸
〃　中野　泰雄
会長　矢野　秀敏（福岡）
副会長　上田　正吉（豊前）
〃　十中　勝吉（久留米）
幹事長　高松　大和（八幡）
事務局長　樋口　毅（早良）
幹事　上田正吉（豊前）十中勝吉（久留米）、池田和行（三井）吉松重治（小倉）木村武幸（宗像）、高松大和（八幡）山野巧典（福岡）柳井博幸（遠賀）平野勝之（福岡）中牟田麗夫（早良）
県連事務局、福岡市住吉横田町九四〇、TEL②六〇五一

写真は福岡県連結成大会

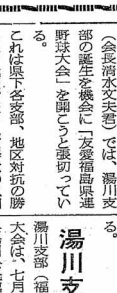
## 人物ハイライト ③

### 受彰の橋村芳延君

京都市でコツコツ友愛運動をすすめてきた橋村芳延君が、七月八日の京都厚生保護大会の席上で表彰を受けた。地味で温和な彼は、"レジャーを友愛に"をモットーにする。彼の名前は坊さんくさい名前で、ホウエンと読むが、実は坊さんいやさが関係が深いのである。京都の三昧院醍醐寺は、庭園の美しさもさることながら、山伏や秀吉の花見などで歴史に有名な寺である。

彼は少年時代家の近くのこの寺の世話をそうじを通じに協力してきた。彼は友愛の幹事である兵庫県連合会の理事を務めている。

彼は少年補導専門委員に選ばれていた。それに対抗して、私学連にも一騎当千の猛者があり、のちに友愛に入った重野君、丹生君中川君等は、立命の彼の同志であった。彼らの雄弁ぶり論志ぶりと比べて、地味な存在であったが、誰からも愛され、その誠実さと実行力では一目おかれていた。彼の厳父は、伏見の本場育ちが自慢だけあって、斗酒なお辞すの万であるが、その点は全く不肖の息子であって殆んど盃を口にしない。昨年の秋に奥様さんをもらい。友愛の全国大会を見せたくて、同伴で上京してきた。勤務先の銀行や、近所でとても評判のよい彼に望むことは組織力を養い京都府連の再建をはかることである。



## 水害救援に活躍

### 北海道で移動映画班

本会、移動文化映画班は、七月十四日、第一陣が東京を出発以来北海道の各地で巡回をつづけ、多大の成果を挙げて巡回をつづけ、二十五日来、北海道を襲った集中豪雨の水害救援に全力をあげて応援することとなり、二十八日富田常任幹事が第二陣として現地に赴き、目下大活躍をしている。

今回の派遣は、長期巡回としては八回目で第一陣は八木宏之幹事（学対部長）中村勇一幹事（技師・前事務局次長）渡辺邦雄（関東学生部）の三名。映画は、オンボロ人生＝天然色、松竹マンガ二本〝新生活の歩み〟（営団タンゴ）

七月十五日在京用での道連キャンプ＝別項＝に参加以降、十九日に札幌市琴似第八場、二十日母子寮、二十二日聚陵学園、二十三日弥生会館、二十四日手稲悲証寺、二十六日福祉センター、二十七日札幌小学校などで上映、延七ヶ所の成果を挙げた。

なお、この活動のための宮田君が参加、以後の活動程について次のような報告がきている。

七月の下旬は三笠市周辺、八月は岩見沢市（一～三日）札幌・豊平（三日）余市町（四、五、六日）広島郡別町、新十津川（十～十三日）旭川（十四・五日）小樽（十六・八日）十九日から「第四回新生活運動研修会」に合流参加。

宮田文化部長談＝皆目沢にて

いくつかの困難に耐えて全員元気です。特に地元北海道会員諸兄の献身的な奉仕と情熱に感謝しています。社会教育振興の最地から地元青年有志との懇談会なども持ちかなり成果をあげていますが、水害の被災はいたましい限りで、全国同志の応援を期待しています。

## 海浜キャンプで親睦

### 北海道道連の主催で

（会市発）北海道各支部会員の親睦を深める北海道道主催の「第一回キャンプの集い」は、七月十五日午後七時半から北海道余市町汐見海岸で開かれた。

当日は札幌支部、余市支部、岩見沢支部、小樽支部などから十名の会員が集まり、折から訪れた「移動文化映画班」（賀生善八木学対部長）一行も加わって、盛大な集いとなった。

炎々と天をこがすキャンプ・ファイヤーを囲んで、まず「友愛の歌」を合唱。八木学対部長、吉川道連会長の挨拶の後、ソーラン節がとび出し、これから隠し芸、民謡、コーラスが次々とくりひろげられて、涼風に夜の更けるのも忘れ、楽しい親睦の一夜をすごした。

## 尾形地方対策部長

### 山口県に組織普及

地方対策部長は八月一日、尾形地方対策部長は八月一日、二日の両日、山口県山口支部、同阿東支部を訪問した。尾形部長は両支部の幹部および会員と懇談会をもち、今後の組織拡大、山口県支部連合会の結成等の問題について会員と意見の交換をおこなった。一日は午後七時半より山口市郊外の防長苑で山口支部主催の懇談会がもたれ、約二十名の会員が出席した。会は佐藤支部長の挨拶にはじまり、つづいて、尾形地方対策部長から三千分間にわたり友愛思想、本部の活動状況等の説明がおこなわれた。それに対する質疑討論がおこなわれ又支部より本部に対する要望が出された。本会の支部の中でも特に女性会員の多い山口支部では、友愛における女性の役割、婦人対策の充実化等の問題につき、活発な意見がだされ十時過ぎ閉会した。

二日は午後八時より阿東町の洗心館で阿東支部主催の懇談会がおこなわれたが、開会に先だち六時半より、原田支部長をはじめ支部幹部と意見の交換がおこなわれた。本会場には、仏教青年会、青年団等の友好団体各会員の顔もみられた。新入会員および友好団体の会員の出席が多いため、尾形地方対策部長の友愛思想の説明を中心に議事が進められ、活発な意見が出され、今後は友好団体との提携を密にし、諸行事の共催をおこなうと同時に支部部会を活発化することを申し合わせ散会した。

## 川崎副会長が講演

### 磐梯友愛山荘建設委の主催で

磐梯友愛山荘建設委員会（委員長）原田小平氏＝猪苗代町長）主催の川崎副会長を迎えての講演会は七月三十日（日）福島県猪苗代公民館で開催された。会場には本会猪苗代支部会員をはじめ地元青年、婦人多数が集まり、

―中共承認問題をめぐって―

「国際政治の行くえ」

と題する川崎副会長の二時間にわたる大演説を感激深くきいた。

川崎副会長は、二十九日午後九時半、会員多数の出迎えを受けて猪苗代に到着、三十日は日朝に磐梯友愛山荘建設予定地を受け、愛山荘の建設に地元側からもいろいろと意見の開陳があり、当面敷地の確保を重点に山荘建設実現に全面的な協力をするむね積極的な発言があって、午後九時盛会裡に散会した。

写真は講演する川崎副会長

## 湯川支部が結成

（会津若松発）福島県支部連合会（会長清水文夫君）では、湯川支部の誕生を機会に「友愛福島県連野球大会」を開こうと張切っている。

これは県下各支部、地区対抗の勝ちぬき戦で、できれば春秋の二回実施し、優勝チームに鳩山会長杯を出そうというので、今後支部では優秀なスポーツマン会員の獲得を競い合っている。特に猪苗代支部では、胸に"友愛"とネームの入ったユニホームを作り盛況試合も行なうんだと意気は盛んである。

湯川支部（福島県河沼郡）の結成大会は、七月二十六日（水）福島県福川公民館に町長代理教育長を迎え、会員二十三名が参集して開催された。

これは福島県猪苗代支部長清水文夫君、会津若松支部長吾妻充君らの積極的な働らきかけが実ったもので、清水君は同日、本部を代表する幹事として大会に祝辞を述べた。

大会で選任された新役員および事務所は次のとおりである。

支部長　稲林　隆
事務局長　山口　健
他に副支部長二、会計一、監査二
専門部は農政、婦人、情宣、文化
の四部
事務局　福島県福川公民館内

## 多治見市で支部結成へ動く

先般、東濃地方組織普及班の派遣をうけた岐阜県多治見地区（責任者大平真澄君）では、その後市内各方面にP・Rすると共に会員獲得につとめ、今秋支部結成へ意欲的な活動をしている。

多治見地域は県外からくる勤労者が多く、商店従業員や工場労務者など不安定な基盤の上におかれている者が多くのので、この打開と改善に"適切な話し合いの場"をつくりたいと大平君は語っている。職場サークルやレクリエーション社教運動をもりあげて、岐阜県連を目標に支部づくりに邁進したいという同支部の今後に大きな期待がかけられている。

## 広島県連総会開く

### 事務局長に蔵本侃君

広島県支部連合会（会長高橋最宣君）は、七月十六日（日）広島市平和記念館で県下各支部、地区代表八十数名が出席して第一回総会を開催した。

高橋県連会長の挨拶の後、議長に検山修吾（広島支部）を選出し、三、三千五年度事業報告、二、三十六年度事業計画案、三、三十六年度事業計画の各議題を審議した。

その結果、三十六年度事業については、県連幹事を改めて再審議すること、役員は事務局長をのぞいて全員再任するほか若干の補充する。事務局長に蔵本侃君（尾道）を選任することが決定した。

この日、来賓の一人として全自治労会議島崎副議長が来席され、原水禁運動の現状説明と積極的参加を呼びかけられた。

大会終了後、広島支部の心づくしによる"記念パーティー"が催されなごやかな歓談に、支部交換のひと時をおくって午後二時散会した。

## 磐梯友愛山荘建設募金

| | |
|---|---|
| 三月分 | 宮森常八殿 |
| 一〇万円 | 衆議院議員八田貞義殿 |
| 一〇万円 | 大竹作摩殿 |
| 五万円 | 会津若松市長横山武殿 |
| 五万円 | 会津バス（株）殿 |
| 三万円 | 市議会議長四家喜治殿 |
| 三万円 | 阿部徳治殿 |
| 三万円 | 早川喜代次殿 |
| 三万円 | 河野みつ子殿、宮森常八殿 |
| 一〇万円 | 郡殿、新城猪之吉殿、風間忠市殿、山中八郎殿 |
| 五万円 | 矢部春雨殿、遠藤常蔵殿 |
| 五千円 | 柏木信一郎殿 |
| 三千円 | 猪俣浦助具店殿 |
| 累計五三八、〇〇〇円 | |

## 36.6豪雨　尾道で街頭募金

### 被災地へ救援金を

広島県尾道支部では七月十四日午後七時より市内金毘に在班十四名が進出して"三六・六豪雨救援募金"を行なった。

この募金救援活動は市内の街頭で市民に呼びかけて行なわれ、午後九時までに一万余円を集計、また各戸訪問による救援物資の拠出を目下呼びかけている。これらの金品は早速、市社会福祉事務所を経由して被災各地へおくられる。

## 磐梯友愛山荘建設募金

（会津若松実行委員会関係分）

| | |
|---|---|
| 一〇万円 | 衆議院議員八田貞義殿 |
| 一〇万円 | 大竹作摩殿 |
| 五万円 | 会津若松市長横山武殿 |
| 五万円 | 会津バス（株）殿 |
| 三万円 | 市議会議長四家喜治殿 |
| 三万円 | 阿部徳治殿 |
| 三万円 | 早川喜代次殿 |

## 今月の大行事

（八月度）

8/1 中央青年部主催全国連絡協議会に加盟承認＝WAYに加盟
常幹出席＝山口県下組織普及始まる＝山口市、阿東町、宇部市＝尾形常幹巡回。4日まで
3 平和建設国民会議事務局会議（午後五時於全労本部）
YPAI（日印青年交換計画）実行委員会＝（午後二時於日青協本部）
日青国際委第一回研究会（午後六時於たまち）海外青年派遣欧州班（本会代表田中君）出発式＝（午後三時半於総理官邸）
5 ドイツ青年代表団来日（午後二時〇五分羽田空港着）
田中（キミ）君欧州へ出発。
早朝墓参会（午前六時半於上野谷中墓地）
7 平和建設国民会議事務局会議（午後一時於全労会議事務局）
平和建設国民会議懇談会（午後五時於赤坂プリンスホテル）
8 ドイツ青年受入懇備委員会（午前十時於尾崎記念館）
日独青少年交歓中央大会第一日（午後一時於尾崎記念館）
9 日独青少年交歓中央大会第二日（午前九時国立競技場・午前十時於総理官邸）
平和建設国民会議団体代表者会代表者会議（午後一時於全労事務局）
平和建設国民会議常任委員会（午後一時於九段会館）
民社研第三回月例研究会（午後六時於主婦会館）
第四回常任幹事会（午後六時於本部）
10 平和建設国民会議事務局会議（午後五時於全労本部）
11 平和建設国民会議団体代表者会議（午後一時於会館）
事業会議（午後三時、於社会事業会館）
第三回常任幹事会（午後六時於本部）全国青年研修大会16日迄（於中央開拓会館）
移動文化映画班（第二陣）北海道へ出発＝八木・中村・渡辺
国民協会発会式（於赤坂プリンスホテル）
広島県連定期大会開く（午前十時於平和記念館）都連お茶お花の会（午前十時於本部）
日独交換日程打合せ会（午前十一時於都市会館）平和建設国民会議事務局会議（午前十時於会労本部）
中青協懇談会（午後一時於総理官邸）日独交換打合せ会午前十一時於都市会館）
国立中央青年の家運営委員会（午前四時於御殿場）平和建設企画委（午後一時富国ビル）
日本青年団体国際委常任理事会（午後六時於たまち）民社研究会（午後六時於第一）
海外派遣出社行会（都三階於東京会館）
婦人友の会教養の集い（午後一時於後楽園）平和建設事務局会議（午後三時富国ビル）
15 広島県連定期大会開く（午前十時於平和記念館）都連お茶お花の会（午前十時於本部）
16 日独交換日程打合せ会（午前十一時於都市会館）平和建設国民会議事務局会議（午前十時於会労本部）
17 出発式＝（午後三時半於総理官邸）
18 二回〇五分羽田空港着）
20 平和建設国民会議事務局会議（午後一時於全労会議事務局）
平和建設国民会議団体代表者会代表者会議（午後一時於全労事務局）
21 平和建設国民会議常任委員会（午後一時於九段会館）
22 日独青少年交歓中央大会第二日（午前十時於尾崎記念館）
日独青少年交歓中央大会第一日（午後一時於尾崎記念館）
24 財団法人日本友愛青年協会第七回小理事会（正午於ホテルニュージャパン）平和建設代表者会議（午後一時明館ビル）
25 平和建設国民会議実行委員会（午後一時於日青館）
平和建設事務局会議（午後一時富国ビル）27日も。
26 移動文化映画班（第二陣）北海道へ出発＝宮田・渡辺
28 福岡県連結成大会（午前九時於税理士会館）尾形常幹出席
平和建設国民会議全国討論集会（午前十時於広島市商工会議所）奥田幹事長出席
30 磐梯友愛山荘建設委員会総会および懇談会（於福島県猪苗代町）川崎副会長、早川広中常幹出席
8/1 中央青年部主催全国連絡協議会（於福島県猪苗代町）川崎副会長、早川広中常幹出席